

# イスラエル経済月報(2015年8月)

在イスラエル日本国大使館

(担当：経済班 松本理恵)

## <目次>

---

主要経済指標 .....	2
当地報道（経済関連） .....	8
日本企業 in イスラエル .....	10
展示会・国際会議の今後の予定 .....	11

## 主要経済指標

- 6日 7月末時点の中央銀行の外貨準備高は884億ドル。前月比24.5億ドル増（中央銀行）
- 7日 7月期のシェケル相場が対ドルで0.4%安、対ユーロで1.9%高（中央銀行）
- 11日 7月期の物品輸出総額は170億シェケル、物品輸入総額は205億シェケル、貿易赤字は35億シェケル（中央統計局）
- 13日 2014年の非営利組織による総生産は597億シェケル、GDP比5.5%（中央統計局）
- 15日 7月期の消費者物価指数は0.2%増。5か月連続で上昇（中央統計局）
- 16日 2015年第二四半期の経済成長率は年率0.3%（中央統計局）
- 17日 2014年の医療費支出はGDP比7.5%。OECD平均9.4%を下回った（中央統計局）
- 18日 7月の国別貿易額。アジア向け輸出が12.6%増、米国からの輸入が17.8%減、アジアからの輸入が11.2%減（中央統計局）
- 19日 インフレ予想、6月期の1.1%から7月期は0.7%に引き下げ（中央銀行）
- 19日 2014年の教育費支出は864億シェケル、GDP比7.9%。一人あたり支出はここ2年増加していたが、0.2%減少した（中央統計局）
- 24日 7月期の失業率は前月と同水準の5.3%（中央統計局）
- 25日 2014年の民間研究開発費支出は448億シェケル、GDP比4.1%。ここ2年の上昇傾向を引き継ぎ、前年比3.4%増（中央統計局）

### 1. 経済成長率

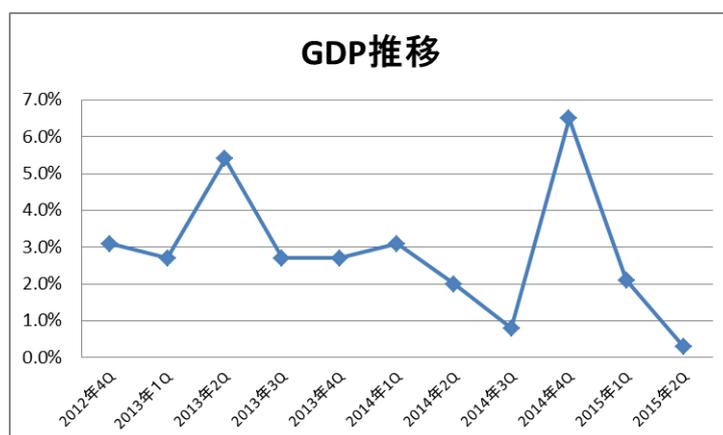
- 第二四半期の経済成長は、わずか0.3%に

中央統計局は、2015年第二四半期の経済成長を0.3%と発表した。第一四半期は2.0%（2.1%から下方修正）、2014年第四四半期は6.0%（6.5%から下方修正）であった。

財務省と中央銀行は、経済成長を3.2%と見積もっていたが、そこからはるかに遅れをとった形だ。

2015年上半期のGDPの伸びは2.6%。2014年下半期、上半期はそれぞれ2.5%、2.4%であった。

第二四半期のGDPのわずかな増加は、個人消費が0.9%増、公的部門の消費が0.4%と中程度だったのに対し、固定資産への投資が3.8%減、物品輸出が12.5%減と落ち込んだことによる。



## 2. CPI (消費者物価指数)

- 2015年7月期は0.2%上昇, 5か月連続で上昇傾向。

中央統計局は, 消費者物価指数 (CPI) は7月期に0.2%上昇したと発表した。アナリストは0.1-0.2%を予想していた。負のインフレの時期を終え, CPIは6月の0.3%増を含め, 5か月連続で上昇している。しかし, 過去12か月で見ればCPIは0.3%下落しており, 2015年頭と同水準である。

主な価格上昇として, 衣類及び履物 (6.6%), 生果物 (1.8%), 家具及び家財道具 (0.8%) がある。

## 3. 貿易 (EXPORT & IMPORT OF GOODS)

- 2015年5-7月期は, 物品輸出が17.1%減, 物品輸入が1.7%増

中央統計局が発表した2015年7月期の物品輸入総額 (ダイヤ及び燃料等含む) は205億シェケル, 物品輸出総額は170億シェケルとなった。

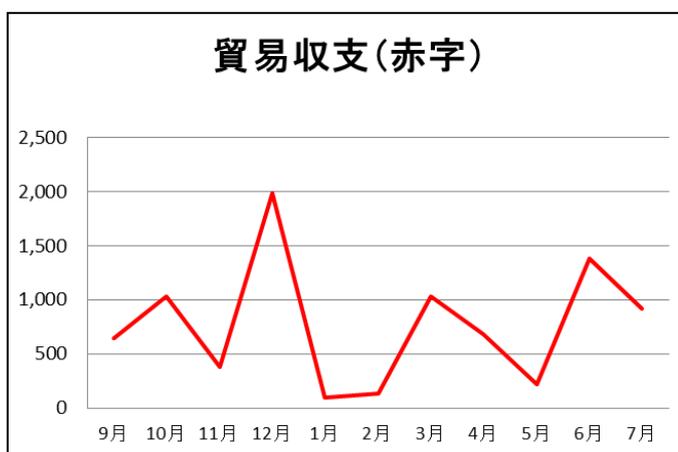
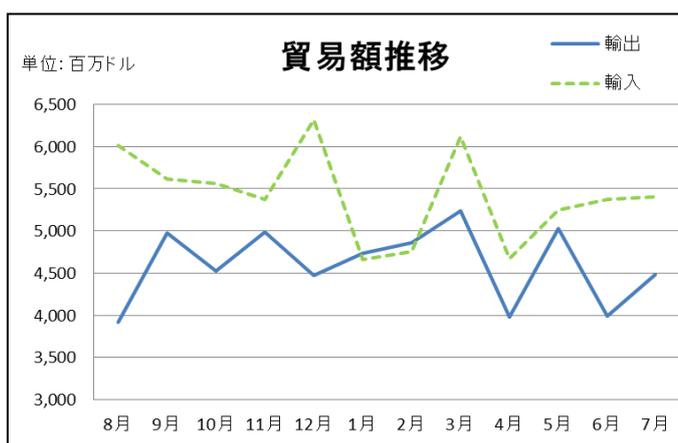
物品輸入 (船舶、航空機、ダイヤモンドと燃料を除く) は, 2-4月期の2.2%増加に続き, 5-7月期で年率1.7%増加した。

物品輸出 (船舶、航空機、ダイヤモンドを除く) は, 1-4月期に9.2%減少したのに続き, 5-7月期で年率17.1%低下している。

物品輸入総額 (船舶、航空機、ダイヤモンドを除く) に対する, 物品輸出の割合は, 前年同期の76.3%に対し83.7%。貿易赤字は合計で35億シェケルとなった。

1-7月期の貿易赤字 (物品のみ) は, 前年同期の約268億シェケルに対し, 約163億シェケルとなった。

6月期の貿易は, シェケル相場に影響された。6月期の為替相場は, 対ドルで1.0%, 対日本円で3.5%のシェケル高であった。また, 対ユーロで0.5%, 対ポンドで0.4%上昇した。



注: 上記グラフはダイヤモンド・船舶等を含むトータル/米ドル

#### 4. 失業率推移

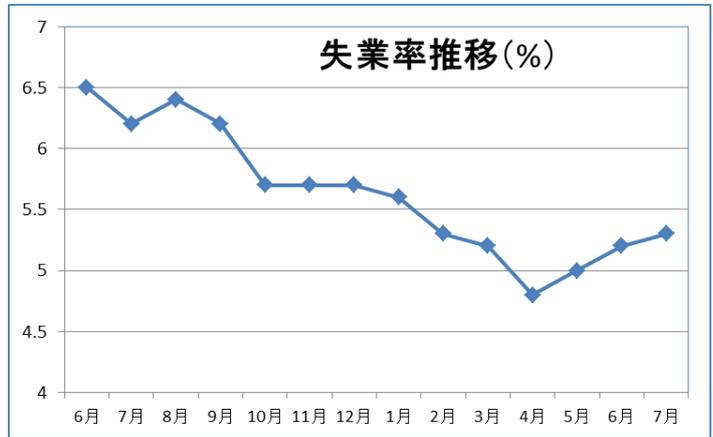
##### ● 7月期の失業率，変わらず

中央統計局は、7月期の失業率は、年率5.3%（季節調整後）に留まったと発表した。データによれば、2015年7月のイスラエルには、363万人の就労者と20.5万人の失業者がいる計算だ。

しかし、25-64歳の就業率は6月期の76.6%から76%に低下している上、25-64歳の労働参加率は6月期の80.1%から79.6%に低下している。

25-64歳のレンジについて見ると、失業率は6月期の4.4%から4.6%に増加している。

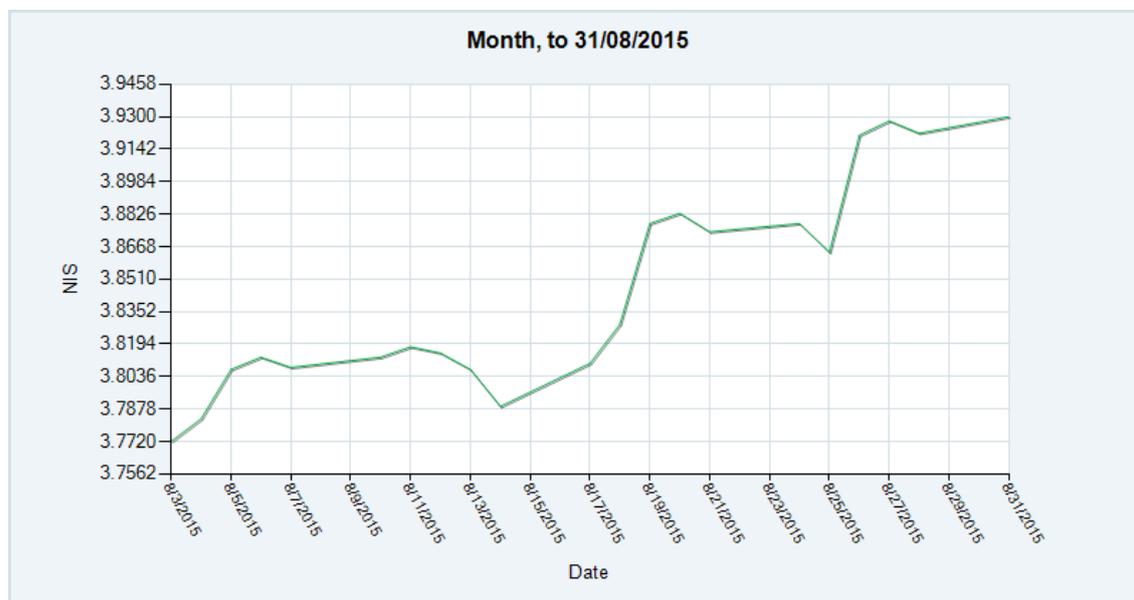
また、就労者の男女比について見ると、男性が193.9万人（前月192.4万人）に対し、女性は169.1万人（前月171.7万人）となっている。



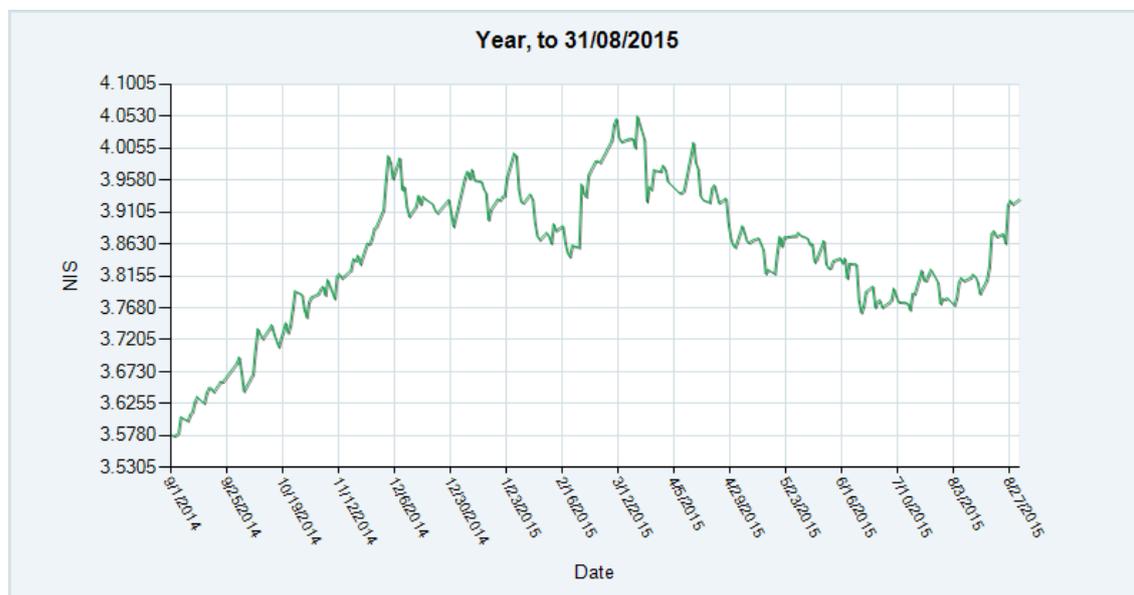
## 5. 為替推移

### ● ドル/シケル推移

過去1か月間（2015年7月13日～8月12日）



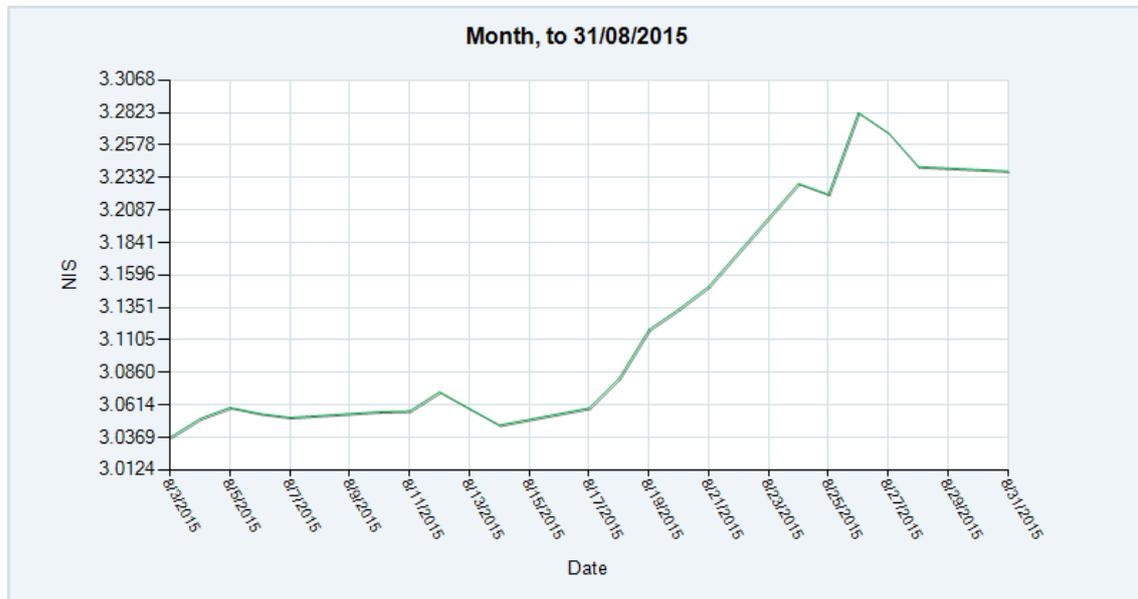
過去1年間（2014年8月13日～2015年8月12日）



（出展：イスラエル中央銀行）

● 円/シケル推移

過去1か月間（2015年7月13日～8月12日）



過去1年間（2014年8月13日～2015年8月12日）



（出展：イスラエル中央銀行）

●主要株価（TA25）推移

過去1か月間（2015年7月1日～7月31日）



過去1年間（2014年8月1日～2015年7月31日）



（出展：テルアビブ証券取引所）

## 当地報道（経済関連）

（※ J：エルサレム・ポスト紙，H：ハアレツ紙，G：グローブス紙，M：マーカー紙）

- 2日 農業省が畜産、鶏肉、魚等における独占構造の改革に取り組む。これにより消費者は数億シェケルの物価安を得られる可能性がある。（M）
- 3日 財務省が政府内議論に向け 2015-16 予算を公表。しかし防衛予算問題が未解決だ。同省は既に説明なく 25 億シェケルの増額を得ている。（H）
- 4日 日曜の記録的な猛暑のため、電力使用量が過去最大の 12.8 メガワットを突破すると見られている。「追加の発電所が必要だ」という声も。（G）
- 5日 イスラエル鉄道がエルサレム－テルアビブ間の敷線工事を開始。初の電気式鉄道となる。予算は 70 億シェケルと推定される。（J）
- 5日 ライトレール工事に伴う渋滞対策として、公共交通料金が切り下げとなり、通勤に自家用車を使わないよう働きかける。所要コストは 1 億 2,000 万シェケル。（J）
- 6日 カナダ・ボンバルディア社、イスラエル鉄道の列車調達契約を 10 億シェケルで受注。他の入札者には仏アルストム社があり、中国は技術的な理由で失格に。（H）
- 7日 金曜夜～土曜に計画されていたベングリオン空港のストライキが中止に。労組は短期契約社員への空港当局の管理体制に不満を持っていたが、進展が見られた。（J）
- 7日 熱波により電力消費量の新記録が 2 回更新されたことを受け、IEC は、LNG 購入に向けた入札募集を公表。270～300 万 MMBTU について、来月納入を求める。（G）
- 7日 公共事業電力総会は、電気料金の 7%下げを決めた。この 1 年で 2 度目の下げであり、引下げが実際に適用されれば、9 月には電気料金は 16%下がることになる。（G）
- 7日 イスラエルの 7 月末の外貨準備高が、6 月末より 2.5 億ドル上昇し、884 億ドルで過去最高となった。これまでの最高値は、昨年 8 月の 876 億ドル。（J）
- 10日 6 月 24 日から購入税が引き上がることを受け、駆け込み需要で 6 月の住宅販売高は過去最高を記録。購入された計 16,100 戸のうち、40%は投資家によるもの。（H）
- 10日 7 月の観光客数が、ガザ戦争から復活し、2013 年のレベルまで復帰。先月の外国人観光客数は 24.5 万人（昨年同月比 26%増）。（H）
- 10日 関係省庁委は、タマル油田のガス価格を、企業の収益性を損なわずに下げられると結論。現在の熱単位量あたり 5.4～5.6 ドルに対し、4 ドルにできるとした。（各紙）
- 10日 通信大手 Bezeq が、ハイセンス社、テルアビブ大学及びアクセラレーターの Vertical Engine 社と協力し、IOT 開発者向けのインキュベーターを立ち上げる。（J）
- 11日 中国が、イスラエル鉄道の入札はボンバルディアのために“特別に作られた”ものだと批判している。（G）
- 11日 中国ブソン社が、コスメ大手アハバへの投資に向け交渉中。市場価値は 6.9 億ドル。ブソン社は全株購入の意向だが、キブツが株の売却に応じていない。（M）
- 12日 ガス計画に係るノーブルエナジー社との調整。リバイアタン開発に係る部分は合意に至ったが、安定供給部分が未合意のまま、副社長はイスラエルを去った。（G）

- 14日 ネタニヤフ首相とシュタイニッツ水資源相が天然ガス計画の妥協案を提示。焦点はガス価格、リバイアタン開発、政治的安定性。日曜日に閣議に提出される。(各紙)
- 14日 猛暑により、ショッピングモールの利用客数が増加している。ただし、購買にはつながっていない。(H)
- 17日 内閣がガス計画を承認。ガバイ環境保護相を除く全員が賛成票を投じた。デリ経済相は、計画の強制執行に必要な独禁法第52条への署名を決めかねている。(各紙)
- 17日 ヘブライ大学が世界大学ランキングでイスラエルトップとなる67位に。テクニオン、ワイツマン、テルアビブ大学が続いた。(各紙)
- 18日 経済の低成長を受け、カハロン財務相が、省幹部を集めた緊急ミーティングを開き、成長に向けた計画の策定を求めた。(H)
- 18日 首相公邸の経費が低下。2014年は、エルサレムの公邸とカエサリアの私邸を合わせ、計196万シケル。昨年より19%減少しており、過去5年間で最も低い。(J)
- 19日 カハロン財務相が所属するクラヌ党の議員は、議会でのガス計画の審議を自由投票とする見込み。連立不仲から予算案審議でリクードが自由投票を行う可能性も。(H)
- 19日 住宅不足への対抗策として、ヘルツェリア市が、海外から1.5キロ離れたところに二つの人工島を作り、そこに4万戸の住宅を建設することを検討中。(G)
- 25日 中国市場の暴落を受けて、テルアビブ証券取引所も株価下落。特に、技術、バイオ医療、エネルギー分野で大幅下落。(各紙)
- 25日 米格付け機関ムーディーズが、昨日、今年のイスラエルの経済成長が3%を超えることはないだろうと警告(H)
- 25日 ライトレール工事のため、数十年にわたって市民から愛されてきたマアリブ陸橋が爆破された。カツ運輸大臣がボタンを押し、大勢が見物に押しかけた。(各紙)
- 26日 テルアビブ証券取引所が世界市場の持ち直しに加わった。TA25指標は2.6%上げ、TA100指標は2.9%上げ。(各紙)
- 26日 アメリカン空港はフィラデルフィア-テルアビブ便の打ち切りを決めたことを受け、運輸省が外務省経由でワシントンに便を維持するよう働きかけ。(H)
- 27日 デリ経済相が、ガス計画の承認に関し、独禁法第52条権限は行使せず、新たな公正取引委員長の就任を待つと発言。(各紙)
- 27日 携帯会社ゴランテレコム社が、他社に合併の呼びかけ。同社は2012年のカハロン通信相による改革で新規参入した。独占禁止当局が合併を認めるかは不明。(J)
- 27日 テルアビブのサロナ市場内のカフェが、安息日に閉店したところ、契約違反としてテナントが違約金を徴収。市は安息日の営業を禁じており、問題になりそうだ。(J)
- 28日 セルコムが、ゴランテレコムの買収を検討している。買収が独禁法上認められれば、2012年の改革で誕生した超競争的市場の大きな後退となる。(各紙)
- 28日 イスラエルの防衛電子企業Elbit Systems(ハイファ所在)が、イスラエル公安庁及びイスラエル警察によるヘリコプター調達の契約を、1.15億円で受注。(G)
- 31日 太陽光エネルギー発展のため、財務省が制度改革へ。メーター規制の簡素化、電力事業者への付加価値税の免除、再エネ事業者への財産税率の変更等。(J)
- 31日 ベネット教育相が、理系人材倍増計画を発表。この10年で3,500人落ち込んで9,350人となった上級数学の受講者を倍にすべく、少人数教育等を可能に。(H)

## 日本企業 IN イスラエル

(出展：各社発表)

ピクセラ, 世界的 LTE 通信モデムベンダー-ALTAIR 社と MOU 締結 (4 日)

株式会社ピクセラ (本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：藤岡 浩) が、LTE に特化 (3G 非対応) したモデムチップを開発、提供するイスラエルの Altair Semiconductor (以下、Altair 社) と MOU を締結。

日本市場において、ピクセラが、Altair 社製 LTE 通信モデムを搭載した高速データ通信機器および LTE 搭載 IoT 機器の開発・拡販を行う。

<http://www.pixela.co.jp/company/news/2015/20150804.html>

サン電子, M2M プラットフォーム BACSOFT 社を子会社化 (21 日)

サン電子株式会社 (本社：愛知県江南市、代表取締役社長：山口正則) は、イスラエルの Bacsoft 社の株式を追加取得し、子会社化することを決定。

Bacsoft 社は、工場や大規模プラント等を無線通信により遠隔操作と集中制御をすることができる「M2MGrid Platform」を提供しており、イスラエルの大規模プラントでの導入実績あり。サン電子は、既に Bacsoft 社に対して 19.9% 出資していたが、第三者割当増資の引き受けと大株主からの株式の譲受けにより出資比率を 84.7% まで高め、子会社化する。

<http://www.sun-denshi.co.jp/upload/news/246/20150821.pdf>

DNP, 航空機メーカー IAI の情報セキュリティ訓練システムを本格販売 (25 日)

大日本印刷株式会社 (本社:東京 社長:北島義俊) は、標的型サイバー攻撃から企業を守るための情報セキュリティ部門リーダーを育成するシステムの本格販売を 9 月 1 日に開始。

同システム「TAME Range」は、世界トップレベルのサイバーセキュリティ技術を持つ IAI (イスラエル・エアロスペース・インダストリーズ) の訓練システム。高度化するサイバー攻撃に対して適切に対応・判断できるセキュリティリーダーの育成と、未知の攻撃に対応できるスキルの修得に主眼を置く。

[http://www.dnp.co.jp/news/10113969\\_2482.html](http://www.dnp.co.jp/news/10113969_2482.html)

サムライ, 音声・ルート観光ガイドサービス YAPQ への投資を発表 (31 日)

株式会社サムライインキュベート (本社：東京都品川区、代表取締役 CEO 榊原 健太郎) は、『Samurai Incubate Fund5 号投資事業有限責任組合』より、2015 年 6 月にイスラエルの yapQ, Ltd. に投資したことを、31 日に発表。

yapQ 社は旅行者向け音声・ルート観光ガイドサービス事業の企画・開発・運営を行う。今年度はイスラエル、ドイツ、ロシア、日本をメインターゲットとして世界展開を図る。

<http://www.samurai-incubate.asia/news/post/136>

## 展示会・国際会議の今後の予定

### **DLD** (September 6-12, 2015)

Israel's largest international Hi-tech gathering, featuring hundreds of start ups, VC's, angel investors and leading multinationals.

<http://dldtelaviv.com/>

### **IAC** (October 12-16, 2015)

-International aeronautical congress

<http://www.iac2015.org/>

### **Watec** (October 13, 2015)

Israel's water technologies' exhibition.

<http://watec-israel.com/>

### **Fiscom** (October 27-29, 2015)

The exhibition for Office Technologies, Computing and Smart Business Solutions.

[http://www.stier-group.com/english/fair\\_fis.htm](http://www.stier-group.com/english/fair_fis.htm)

### **Aclima** (November, 3-5, 2015)

Air-Conditioning, Heating, Refrigerating & Ventilation Systems.

[http://www.stier-group.com/english/fair\\_aclima.htm](http://www.stier-group.com/english/fair_aclima.htm)

### **Israfood** (November 24-26, 2015)

Israel's largest food exhibition.

[http://www.stier.co.il/ISRAFOOD/index\\_en.asp](http://www.stier.co.il/ISRAFOOD/index_en.asp)

### **LSIE** (December 9-10, 2015)

Professional exhibition & conferences, designed for the Life Science and Medical industries.

[http://www.stier.co.il/LSIE/index\\_en.asp](http://www.stier.co.il/LSIE/index_en.asp)